

環境調査結果のお知らせ

令和2年5月26日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は21.0~23.5℃で、前回調査時(R2.4.24)と比較して全層で3.3~9.2℃上昇しました。塩分は15.6~32.6で、前回調査時と比較して表層及び2m層から底層で0.1~0.8下降し、1m層で1.3上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.7~14.5mg/Lで、前回調査時と比較して表層から2m層で1.0~5.1mg/L増加し、底層で1.1mg/L減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.7mでした。
 検鏡の結果、有害種は確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	23.5	14.3	9.2
1m	22.5	16.9	5.6
2m	21.3	17.9	3.4
B-1	21.0	17.7	3.3

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	15.6	16.2	▲ 0.6
1m	24.7	23.4	1.3
2m	31.5	32.3	▲ 0.8
B-1	32.6	32.7	▲ 0.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

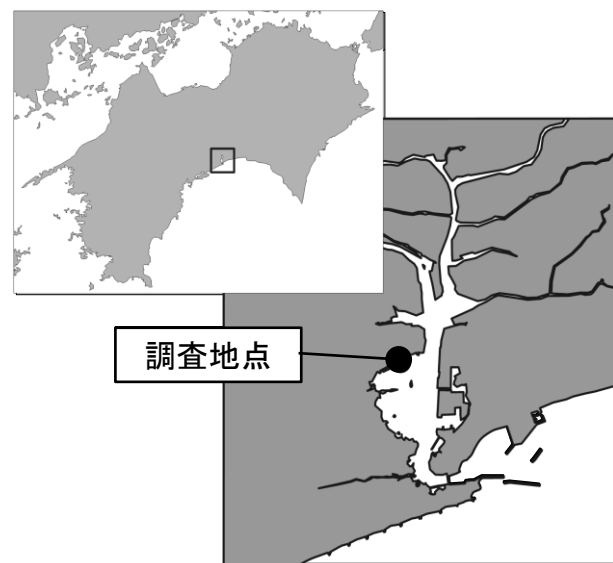
測定水深(m)	今回調査	前回調査(R2.4.24)	
			差(今回-前回)
0m	14.5	9.4	5.1
1m	10.8	8.4	2.4
2m	8.5	7.5	1.0
B-1	5.7	6.8	▲ 1.1

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	3.3
透明度	1.7	2.2

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
0	0	11,600
2	0	5,300
3	0	1,000



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>